

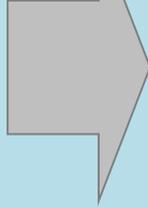
## 広域避難にも対応した地域防災拠点

中枢となる防災拠点のほかに、活動拠点機能や避難者の收容機能を備えた地域防災拠点を整備することによって、大規模災害においてもより効果的な災害対応が可能となる。



位置や規模、アクセス、施設等の面を考慮した場合、市内で地域防災拠点に最も適しているのが「弘前運動公園」である。

周辺には弘前駅やオフィスアルカディアが存在するほか、周辺市町村とも近接していることから、大規模災害時には、観光客や帰宅困難者、事業所従業員のほか、**周辺市町村からの避難**が想定される。また、**原子力災害等の広域避難にも対応する必要**がある。



## 地域防災拠点として機能するための整備

(地域防災拠点)  
**弘前運動公園**  
 ※H29年度完成予定

### <機能>

#### 【災害時】

- 災害対策本部の補完、現地对策本部
- 防災関係機関の活動拠点
- 災害医療救護所
- 避難者の收容
- 資機材・食料等の備蓄
- 救援物資等の集積・中継・分配
- 食事等の提供
- ヘリコプター離着陸

#### 【平常時】

- 訓練等の実施
- 研修等の防災啓発

# 弘前運動公園の防災拠点化について

## 1. 整備概要

現在、弘前運動公園の長寿命化計画策定と並行して、防災拠点化に向けた基本構想の策定作業を進めており、今年度中に策定予定。

### ①今後の予定

平成27年度 設計、工事着工

平成29年度 工事完成

### ②全体事業費

現在作業中の基本構想において概算額を算出し、設計段階で精査する予定。

## 2. 施設別の防災機能

効率的に機能を発揮させるため、大きく北側と南側で機能別にゾーニングし、以下の機能をもたせる。

なお、現時点の基本構想案であるため、今後変更となる可能性がある。

### <避難・救援・支援ゾーン>

#### ①青森県武道館、遠的弓道場

- ・活動調整本部（市現地災害対策本部、各機関現地指揮本部等の調整）
- ・避難者の収容（要配慮者、原子力災害時の広域避難者の収容にも対応）  
注）青森県地域防災計画（原子力編）に基づき、原子力災害時には横浜町からの広域避難の受入れを行うことで、県・関係市町村・関係機関で現在検討を進めている。

#### ②克雪トレーニングセンター

- ・避難者の収容（原子力災害時の広域避難者の収容にも対応）  
※避難者受入れ施設として使用しない場合 → 物資等の集積

#### ③エントランス広場

- ・行政、ボランティアなどの支援活動拠点

#### ④多目的広場

- ・物資等の集積、荷捌き

⑤テニスコート

- ・物資等の配布

⑥各駐車場

- ・西側駐車場は、避難者及び関係機関の車両エリア
- ・第1～3駐車場は、支援及び復旧関係の車両エリア

<実働隊ゾーン>

⑦陸上競技場

- ・ヘリポート

※青森空港が使用不能な場合などは、人命救助や物資輸送などを行うヘリコプター出動の拠点となるヘリベースとして使用

- ・救護所

⑧球技場

- ・実働隊車両待機場所

※発災直後や初期段階においては、一時避難場所として使用

⑨野球場

- ・消防、警察、自衛隊等の現地指揮本部、活動拠点及び宿営場所

※陸上競技場がヘリポートとして使用できない場合 → 臨時ヘリポート

※発災直後や初期段階においては、一時避難場所として使用

※平常時の備蓄倉庫機能

3. 将来的な検討課題

- ア. 公園東側と国道7号線との接続（非常時出入口の確保）
- イ. 公園南側とオフィスアルカディア側との通行路の確保

# 弘前運動公園 防災公園整備計画図(素案)

## 《弘前運動公園について》

弘前運動公園は地域防災計画では広域避難地として位置づけられています。28.2haと十分な広さを持ち、第1次緊急輸送道路に県指定されている国道7号線、県道109号線を接続道路とし、高速道路からのアクセスも良く、市役所等の施設からも近いことから、規模、立地の両面で防災公園として適した要件を備えています。これらのことから、防災拠点の機能を担う防災公園としての活用を目指して整備を行います。

## 《整備の方針》

防災公園は日常的な利用形態から発災後、時間と共に要求される役割が変化し、利用の方法も変わっていきますが、効率的な機能とするために、大きく北側と南側でゾーニングを設定しながら施設別機能の整理を行いました。

## 【実働隊ゾーン】

公園アプローチ道路と接続し、まとまった平地を確保できる南側の陸上競技場、球技場、野球場を実働隊ゾーンとします。

### (陸上競技場)

グラウンド部分の整備、夜間照明対応を検討の上、ヘリポートとします。建物は医療班の活動場所や負傷者のトリアージ等、医療拠点となる救護所になります。また、青森空港が使用できない場合はヘリコプターの出動拠点となるヘリベースを兼ねます。



### (球技場)

実働隊の車両待機場所とするほか、必要に応じて発災直後および初動段階に一時避難場所として使用します。

### (野球場)

日常の公園管理機能と広い平地を併せ持つことから、消防・警察・自衛隊等の関係機関の現地指揮本部、活動拠点や宿営場所に使用します。また、照明塔を活かし陸上競技場が使用できない場合の臨時ヘリポートや、発災直後および初動段階の一時避難場所としても使用します。そのほか、備蓄倉庫を整備しますが、これらのための諸室が不足する場合はスタンドの拡充を検討します。

## 【避難・救援・支援ゾーン】

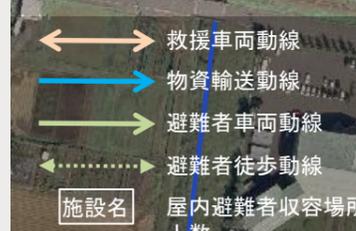
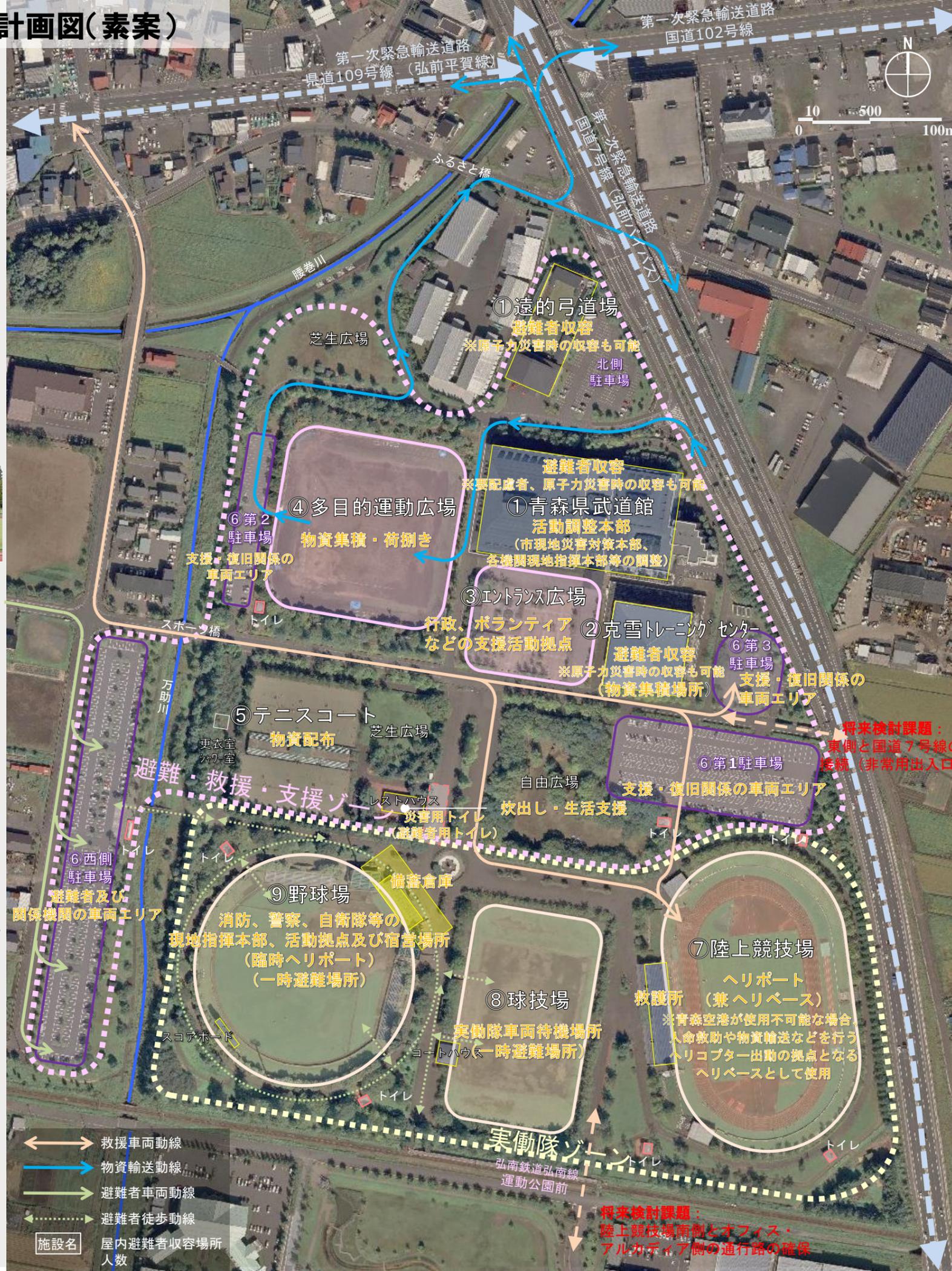
国道7号線からアクセスしやすく、大きな建物が集まる公園北側の多目的運動広場、駐車場、克雪トレーニングセンター、青森県武道館一帯を、避難・救援・支援ゾーンとします。

### (青森県武道館・遠的弓道場、克雪トレーニングセンター)

避難者収容施設とします。要配慮者は宿泊施設や座席を持つ青森県武道館への収容を原則とするほか、青森県武道館には市現地災害対策本部や各機関現地指揮本部等の調整を行う活動調整本部となります。克雪トレーニングセンターは、避難者受け入れをしない場合、風雨・雪を防げる物資集積場所に利用します。

### (エントランス広場)

行政、ボランティアなどの支援活動拠点とし、被災地や被災者、物資に必要な後方支援全般の窓口として機能します。



## (多目的運動広場・テニスコート)

一次緊急輸送道路である国道7号線から直接アクセスできる多目的運動広場を物資集積場所、荷捌き場所とし、隣接するテニスコートを被災者や避難者への物資配布場所とします。

## (駐車場)

西側駐車場は、避難者及び関係機関の車両エリア、第1～第3駐車場は、支援・復旧関係の車両エリアとします。

## 《整備が望まれる主要な機能》

### 出入口・園路

避難時の入口として、また救援や輸送に使われる各種の大型車両の通行を考慮し、必要な幅の確保を行います。なお、公園東側と国道7号線の接続部に非常用出入口を設けると救援活動の大幅な向上が図れるほか、公園南側のオフィス・アルカディアとの通路の確保も含め、将来検討課題とします。



非常用出入口イメージ

### 耐震性貯水槽

主に飲料水や衛生・医療用水の確保のため整備が必要です。水道管に直結するものや、建物に貯水槽を設けるものなど方式は様々です。

### 非常用井戸

主に生活用水確保に用いられます。トイレ洗浄のほか、親水用水レベルの水質であれば調理・洗面/手洗い・風呂/シャワー等に使えます。雨水貯留による代替・補完も考えられます。



### 非常用便所

災害直後から必要となる機能です。常設トイレの活用を図りながら、必要に応じて不足分を補う形で既存の屋外トイレの改築、仮設トイレやマンホールトイレの整備を行います。

### 備蓄倉庫

災害時に必要となる物品や資機材、あるいは地域で必要となる備蓄スペースを確保します。他の防災関連施設と分担しながら、必要最小限の備蓄内容とし、過大とならないものとします。



備蓄倉庫イメージ

### 管理事務所・情報関連施設

災害時の現地対策本部として管理・運営を行う拠点、避難者支援や情報収集・伝達等の拠点となる場所です。避難や周辺住民に情報を提供するためと、地域全体の広域的なシステムの両面から整備が必要です。平常時の機能の活用を図ると共に、公園管理と異なる機能・運用が必要な部分は関連部局と調整を行い、災害時の利用・運用方法の整合を図ります。日常の管理機能と重複することから、青森県武道館の事務室が想定されるほか、公園の管理機能を持ち、スタンドから公園全体が見渡せて状況把握が容易な野球場において、貯水槽や備蓄倉等の機能向上を含めた一体的な整備が効果的です。

将来検討課題：  
陸上競技場南側とオフィス・アルカディア側の通路の確保

将来検討課題：  
東側と国道7号線の接続(非常用出入口)